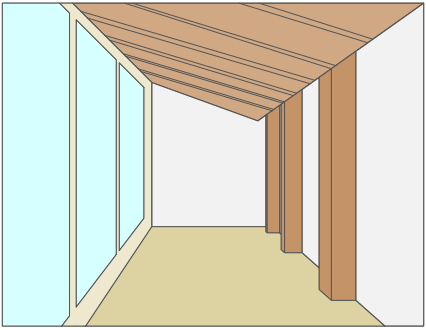


住宅計画

1. 農業と仕事の両立

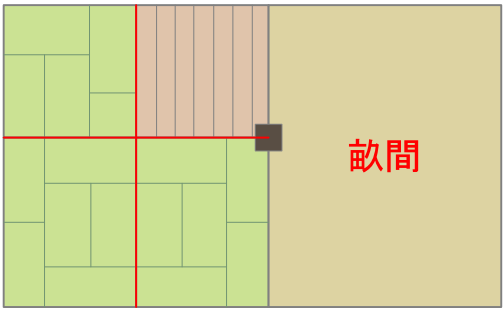


農作業のための畝間
農作業の汚れを持ち込まない



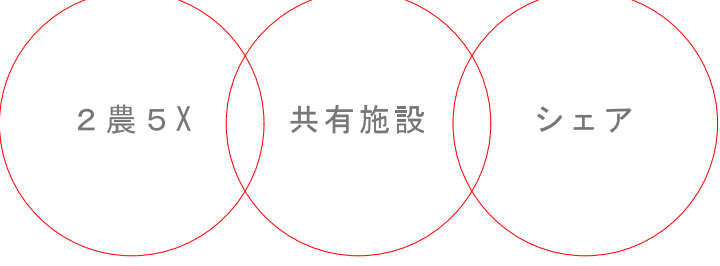
ワークスペース
5日Xに集中できる環境

2. 歴史的財産の継承

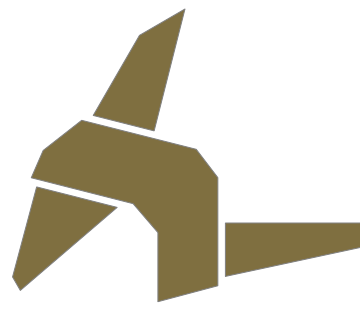


田の字型をもとにした計画
古民家を生かした廊下のない間取り

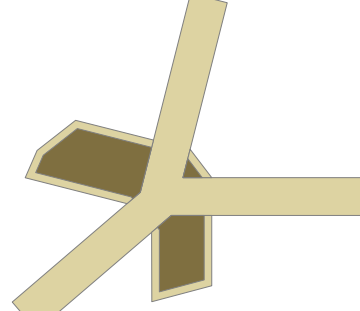
3. つながる関係



自然に関係をつくる
住民とシェア畑利用者を共有施設を通じて自然につなぐ



畑をつなぐ
互いの畑を挨拶感覚で覗き関係を築く 動線を重ね交流のきっかけをつくる



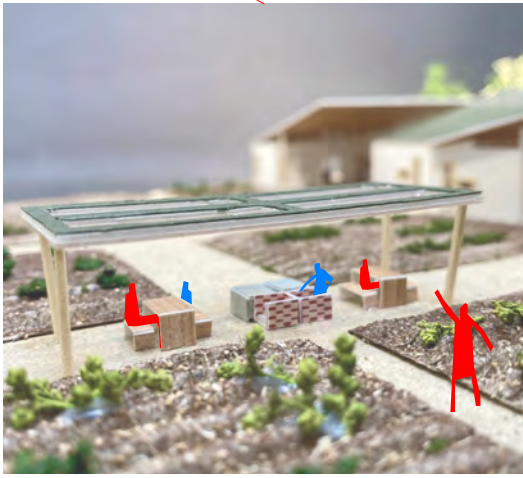
縮尺:S=1/400



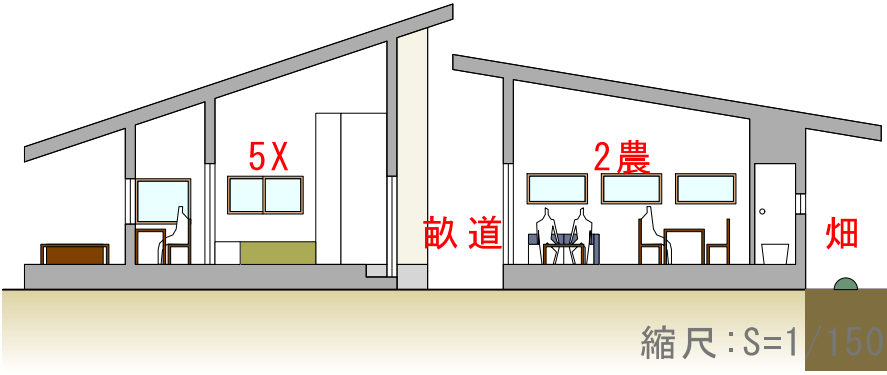
畝間の先に広がる畑
住宅や動線、交流の場の延長線にあることで畑に関心を持てる。



Xとしての開放的な空間
仕事・勉強に集中するXが休憩時間に犬の散歩など自由に癒しが求められる個性あふれる空間。



つながりかまど
かまどは住民とシェア畑利用者を繋ぎ、コミュニケーションのきっかけをつくる。



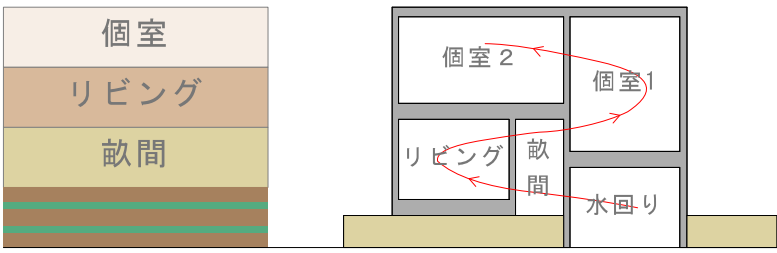
縮尺:S=1/150



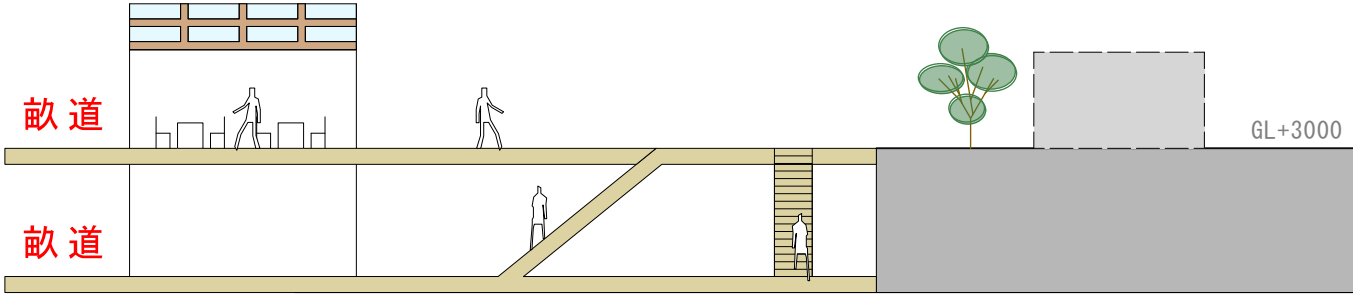
縮尺:S=1/400

タテ住宅計画 (食品研究/テクノロジー/学び)

タテにつなぐ



畝道を中心としてタテに空間を繋ぎ、畑と5Xに境界を設ける



畝道がタテにつながり、共有施設と区画を結び新たな動線をつくる

食品研究ゾーン

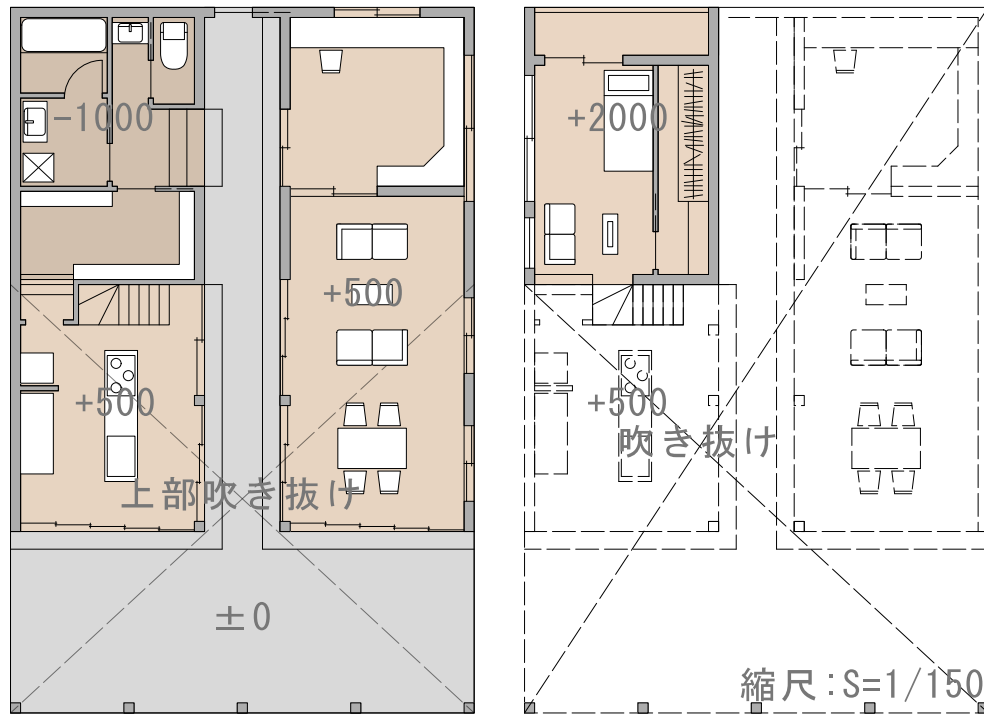
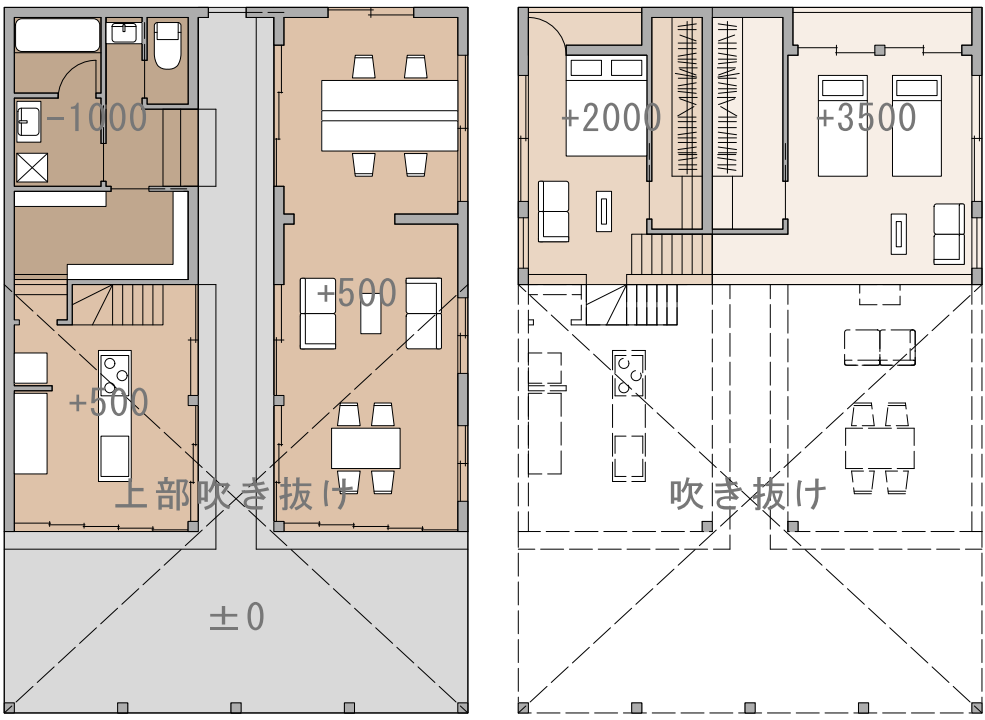
仕事をしながら育てた野菜を使い、料理や食品加工、品種改良に挑戦する

<家族プラン>

働きながら食品研究所に通っている

<单身プラン>

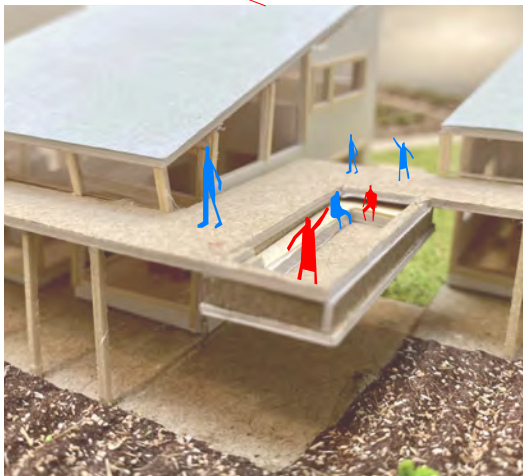
食品加工の勉強中の人物



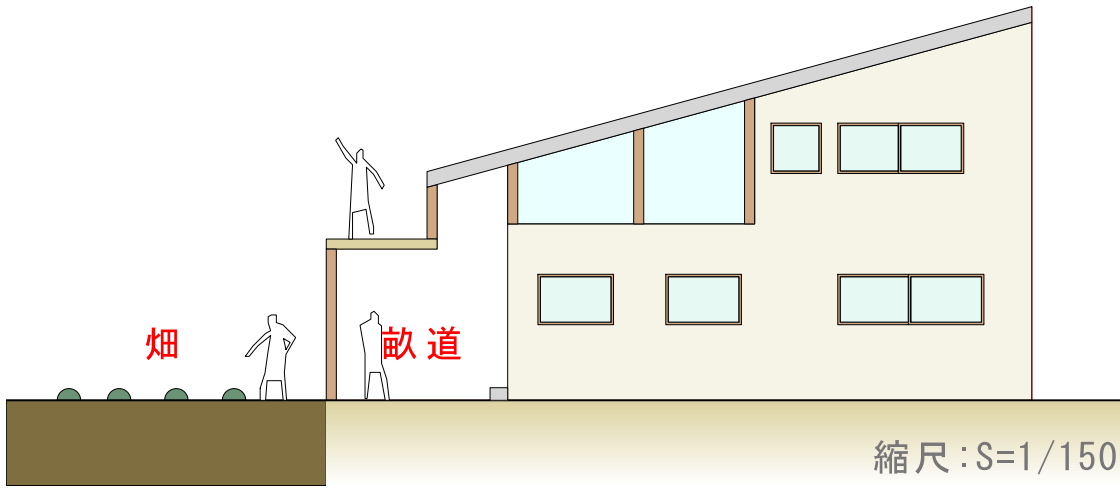
縮尺:S=1/150



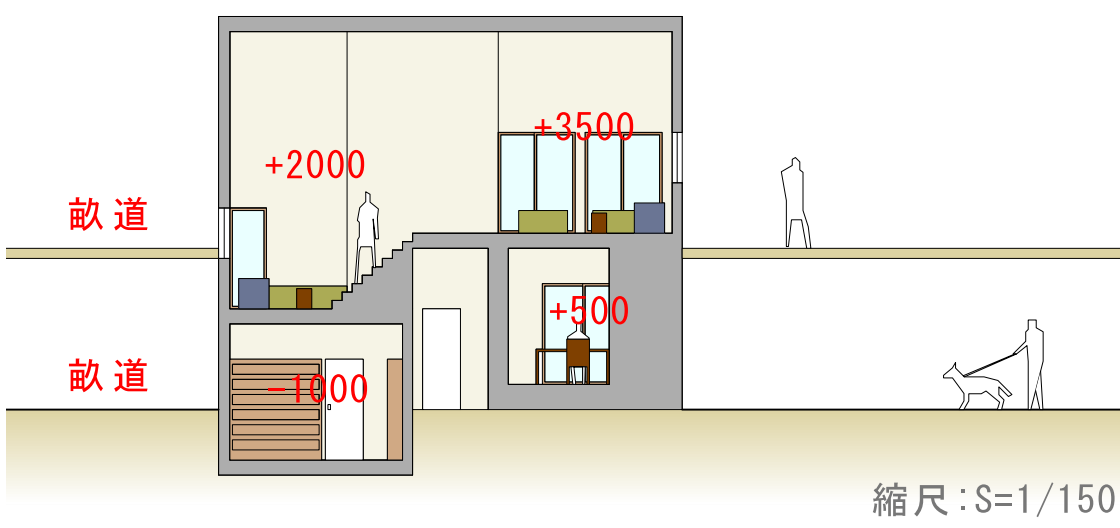
畑を見守りながら研究
温室を中心としてキッチン・加工場・飲食スペースが広がり、食品研究に力めながら住民とシェア畑利用者との関係を築く



関係が始まる場所
隣接した畑を通したコミュニケーションをこえ、日常的に住民同士の関係を作り出すことができる休憩スポット



縮尺:S=1/150



縮尺:S=1/150